

参考資料

目次

- ・意見交換の流れ・・・P 1

意見交換①

- ・第2回ワークショップまとめ「魅力的な将来像」・・・P 3
- ・地域の特徴・・・P 4
- ・地形の特徴・・・P 5
- ・土地利用の特徴・・・P 6
- ・将来人口推計・・・P 7
- ・人口推移・人口割合推移・・・P 8
- ・人口動態マップ（15歳未満）・・・P 9
- ・人口動態マップ（15～64歳）・・・P 10
- ・人口動態マップ（65歳以上）・・・P 11
- ・交通アクセス（バス路線図）・・・P 12

意見交換②

- ・第2回ワークショップまとめ「将来像に向けた公共施設の使い方を整理したアイデア」・・・P 14
- ・南河原エリアの公共施設一覧・・・P 15
- ・起点施設の紹介・・・P 18

意見交換の流れ

意見交換①

60分

起点施設周辺エリアの
将来像（暮らしやすいまち）を考えよう

起点施設周辺エリアの現状把握

将来像（暮らしやすいまち）を出し合う

理由について、聞き取り深める

みどり溢れる
まちなみで
ホッとできる

徒歩圏内に
サードプレイス
（居場所）
がある

入りやすく
居心地のよい
交流の場がある

出た意見をシール投票で重みづけ



将来像を表す**短冊づくり**

ホッとする居心地の良いサードプレイスが溢れるまち

中間発表・休憩

意見交換②

65分

起点施設にあつたらいいなと思う
機能やニーズを考えよう

起点施設の現状把握

将来像を実現するために
起点施設にあつたらいいなと思う
機能やニーズを出し合う
（理由もなるべく書く）

若い人が気軽に集ま
れて交流が生まれる
拠点があるとよい

働き世代が多いため、
夜間にも利用できる、
打合せスペースがある
とよい（地域活動等）

相手方施設
にあった方
が良い場合
についても
考える

シール投票で発表する
内容を絞り込む

発表・まとめ

意見交換①

第2回ワークショップまとめ「魅力的な将来像」

【幸区】第2回ワークショップでまとめた「魅力的な将来像」

- ・働いている人が仕事から帰ってきてから使える夜間営業の公共施設があると良い
(図書館、スポーツ施設)
- ・JRの駅近くに公共施設をなるべく集約して便利に使えるようにしたい
- ・多様な使い方ができる、自由に活用・活動できるハコが充実している
- ・高齢者が安心して、最後まで自分らしく暮らせるまち
- ・困りごととできることがマッチングできる
- ・みんなが資金を出し合って運営しているスペースができている

起点施設周辺における地域の
将来像の意見交換に使用します。

地域の特徴 ～幸区～

参考資料

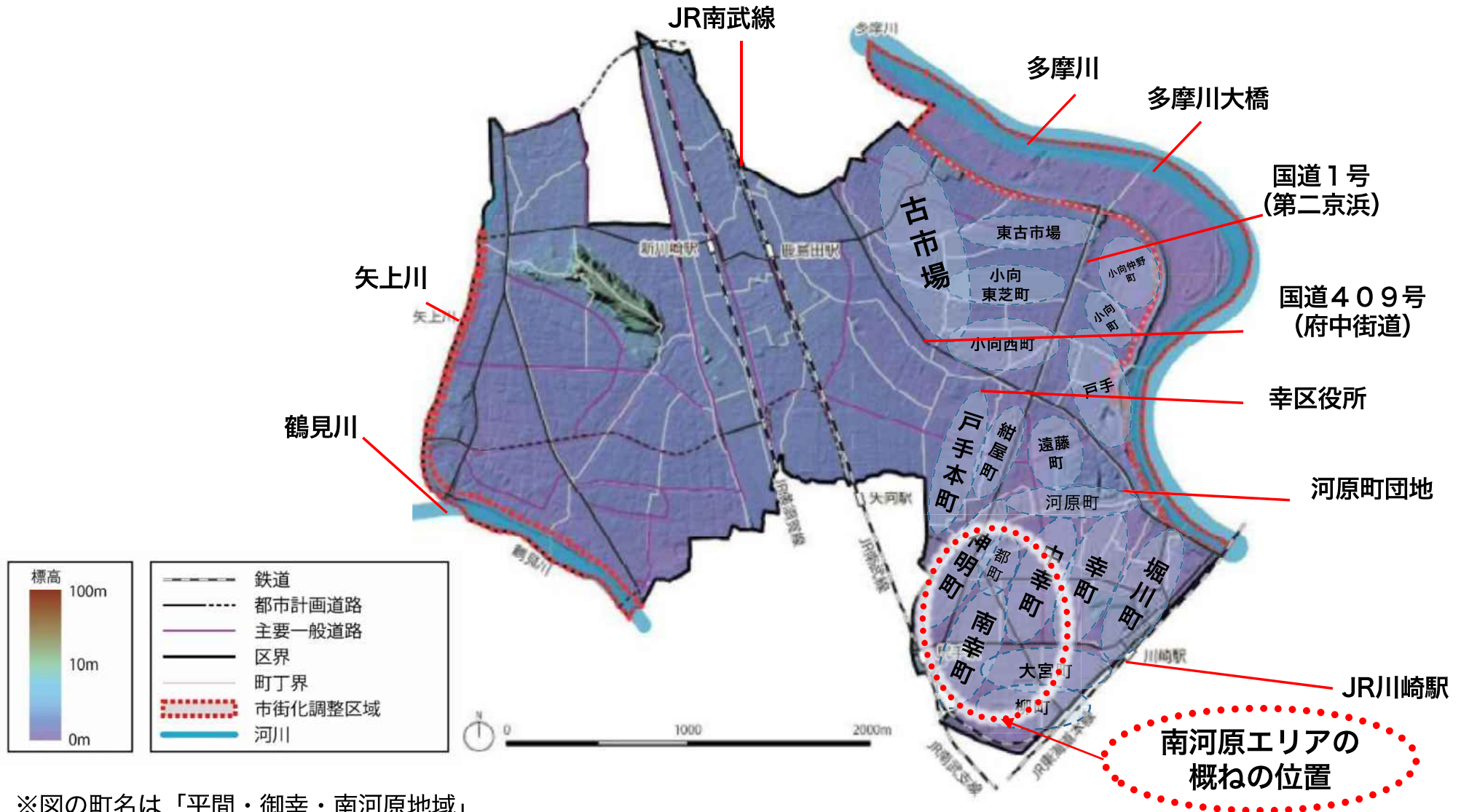
川崎市都市計画マスタープラン幸区構想（令和3年8月改定版資料編より）

ワークショップ等のとりまとめ



地形の特徴 ～幸区～

- ・ 幸区は本市の南東部に位置し、区域の外縁部は多摩川、鶴見川、矢上川に囲まれています。
- ・ 区域北西部に位置する加瀬山（標高約35m）とその周辺を除き、高低差はあまりなく、平たんな土地が広がっています。



※図の町名は「平間・御幸・南河原地域」のみ表示しています

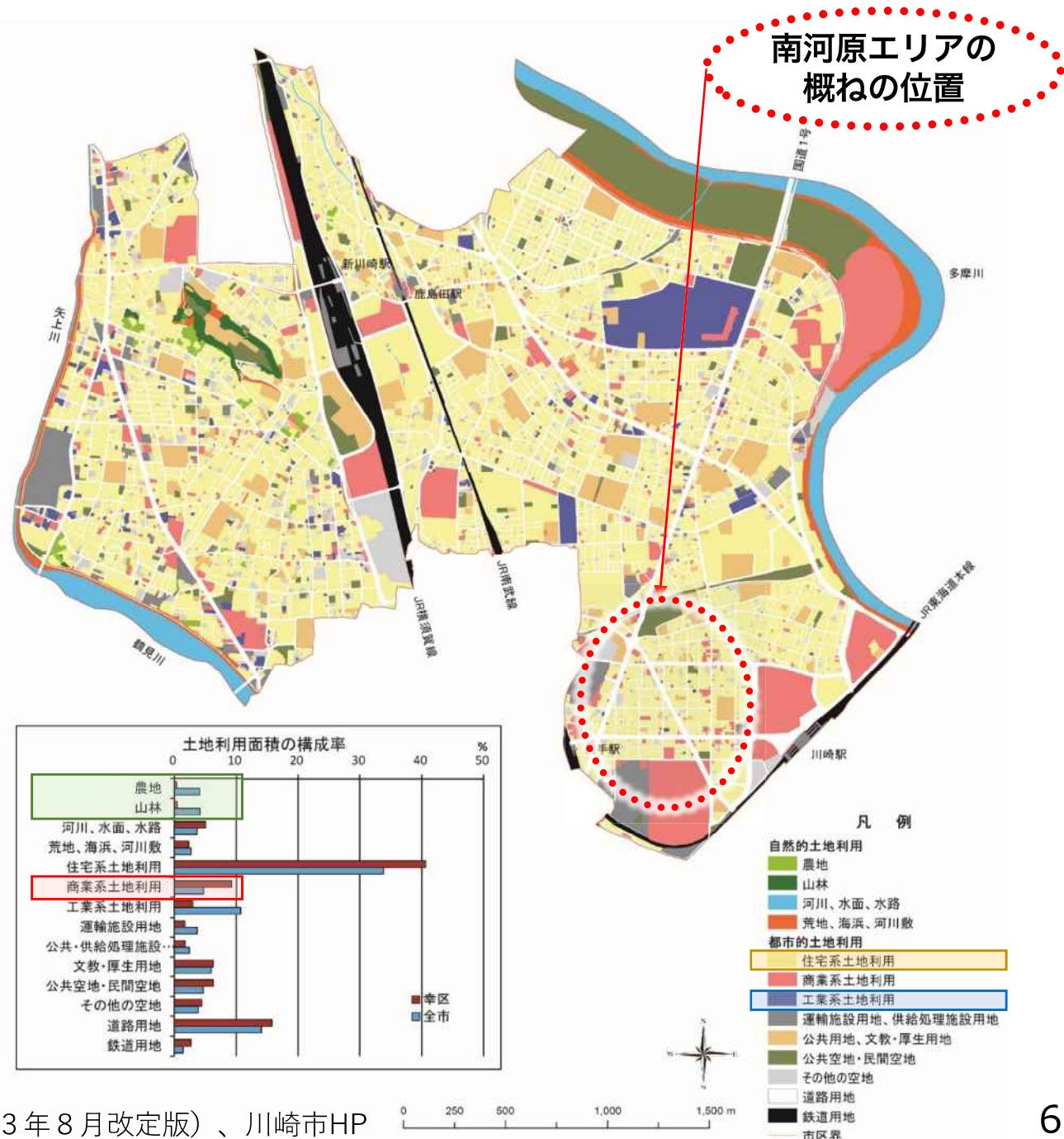
(参考) 川崎市都市計画マスタープラン幸区構想 (令和3年8月改定版)

土地利用の特徴 ～幸区～

- ・幸区の土地利用面積の構成をみると、**全市平均と比べて農地や山林の割合が低く**、一方で、河川、水面、水路の割合が高い状況です。
- ・川崎駅周辺への業務・商業機能の集積により**商業系土地利用の割合が全市平均に比べて高くなっています**。
また、鹿島田駅周辺及び幹線道路や地域商店街に沿って商業系土地利用が見られます。
- ・国道1号（第二京浜）沿いの一部で、まとまった**工業系土地利用**が見られますが、**住宅系土地利用**と混在しています。
- ・なお、南河原エリア周辺は川崎駅周辺における大規模工場の進出とほぼ同時期の**耕地整理**を経て、関連する中小工場の集積や勤労者向け住宅の建設などの工場と住宅が併存する市街地が形成されていきました。この**耕地整理**により、**概ね現在の街の骨格となる区画が形成**されました。



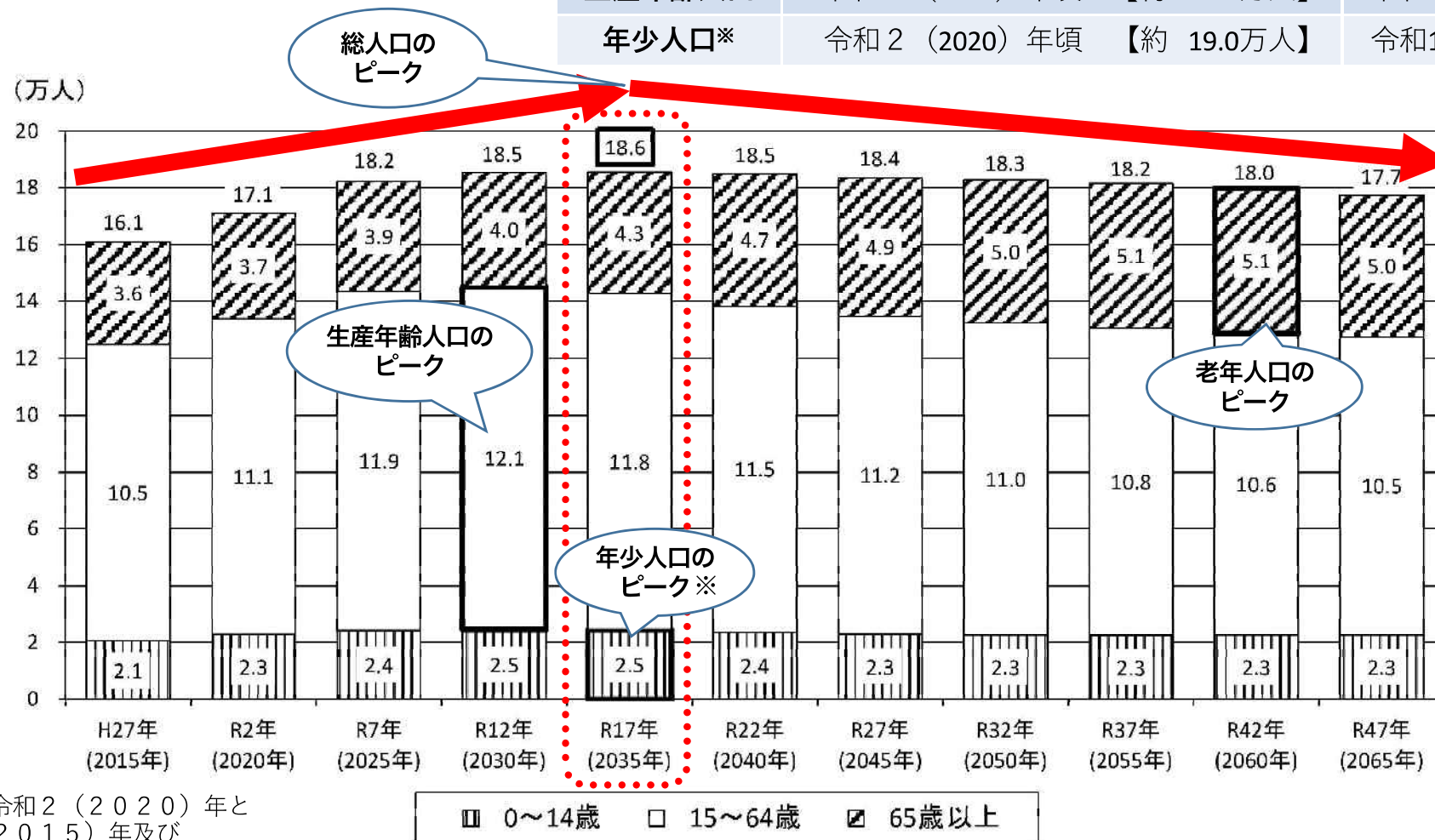
昭和59（1984）年頃
の川崎駅北口→



将来人口推計 ～幸区～

- ・幸区の人口は**令和17（2035）年頃の約18.6万人**を**ピーク**に、その後は減少過程への移行が想定されています。
- ・また、**市全体の推計と比べると、総人口、老年人口、生産年齢人口、年少人口**の全ての項目において、**ピークが遅い**のが特徴です。

項目別 ピークの年代	川崎市全体（【 】は人口）	幸区
総人口	令和12（2030）年頃 【約 160.5万人】	令和17（2035）年頃
老年人口	令和32（2050）年頃 【約 47.5万人】	令和42（2060）年頃
生産年齢人口	令和7（2025）年頃 【約 106.0万人】	令和12（2030）年頃
年少人口※	令和2（2020）年頃 【約 19.0万人】	令和17（2035）年頃

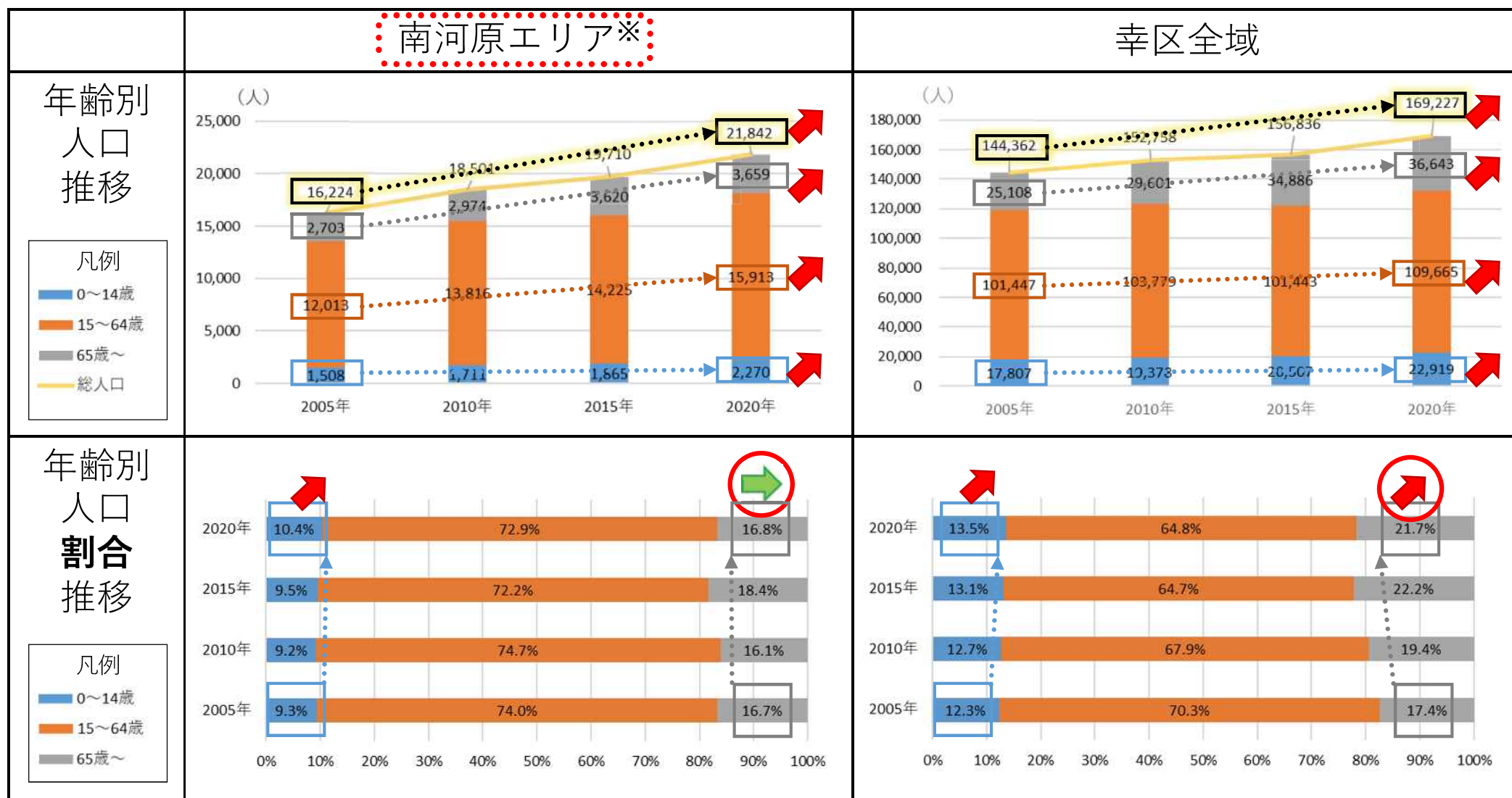


※基準となる令和2（2020）年と
平成27（2015）年及び
推計期間の中での最大値

資料：令和4（2022）年2月川崎市総合計画第3期実施計画の策定に向けた将来人口推計（更新版）

人口推移・人口割合推移 ～幸区～

- ・「年齢別人口推移」をみると、南河原エリアは、**総人口**、**年少人口（0～14歳）**、**生産年齢人口（15～64歳）**、**老年人口（65歳～）**ともに**増加傾向（区全域でも増）**となっています。
- ・「年齢別人口割合推移」では、南河原エリアは、**年少人口（0～14歳）**では区全域で同様に**割合が増加**していますが、**老年人口（65歳～）**では**割合の変化が横ばい**で区全域と異なる傾向を示しています。



※南幸町1～3丁目、中幸町1・3・4丁目、都町、大宮町、柳町の町丁目を集計。
 当該エリアの起点施設：南河原老人いこいの家

【人口・人口割合推移（国勢調査より町丁別年齢別人口統計）】8

人口動態マップ（15歳未満） ～幸区～

- ・ 町丁目別の15歳未満の人口割合を見ると、**川崎駅周辺**のほか、**戸手4丁目**、**戸手本町2丁目**などでその**割合が高**くなっている一方で、**河原町**や**南幸町周辺**では**低い割合**となっています。

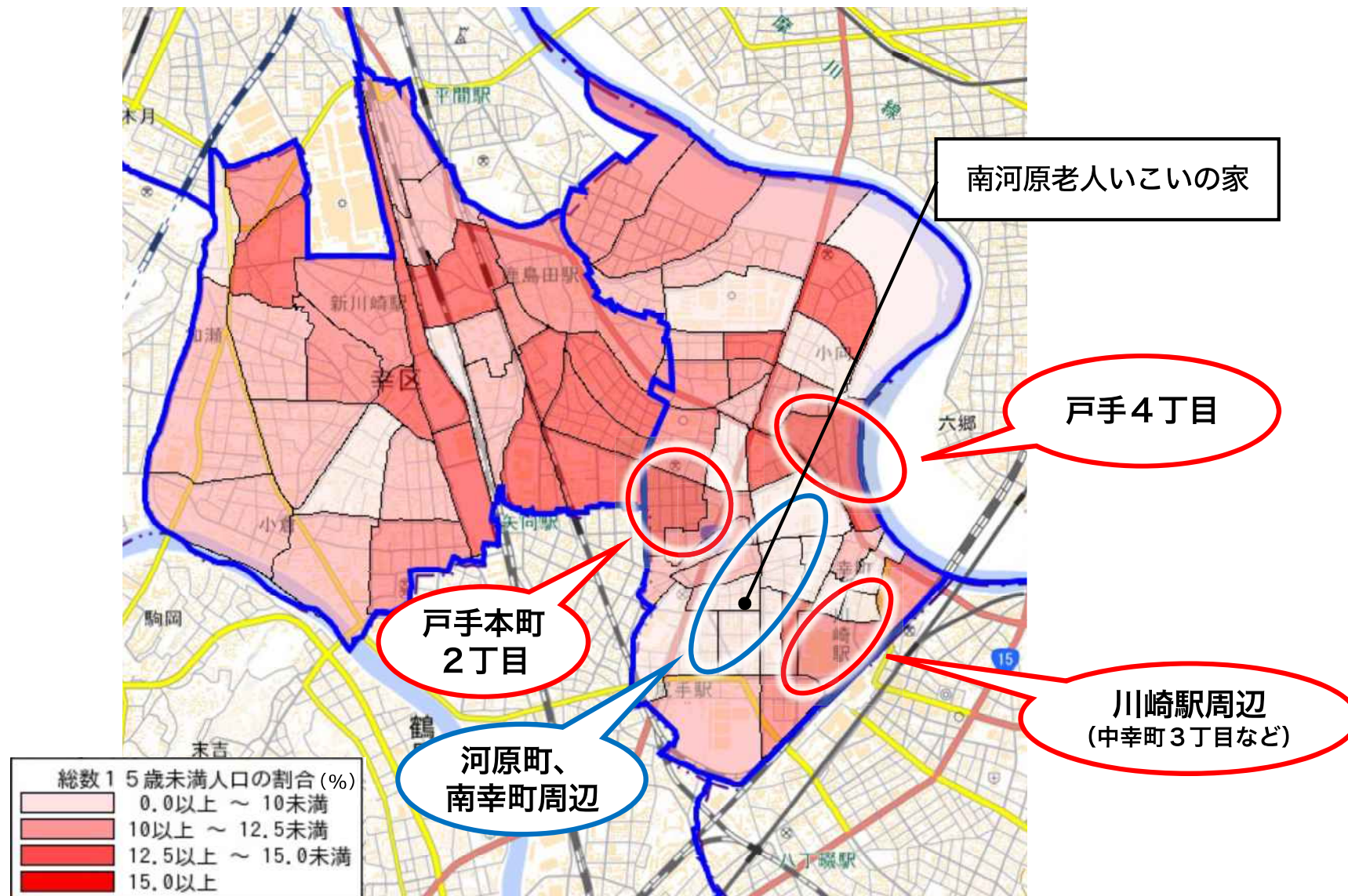


図 幸区の町丁目別15歳未満の人口割合（令和2年国勢調査）【jSTATMAP】

人口動態マップ（15～64歳） ～幸区～

- ・町丁目別の15～64歳の人口割合を見ると、南幸町などの**川崎駅周辺**で**割合が高**くなっている一方で、**河原町**、**古市場**周辺では**低い割合**となっています。

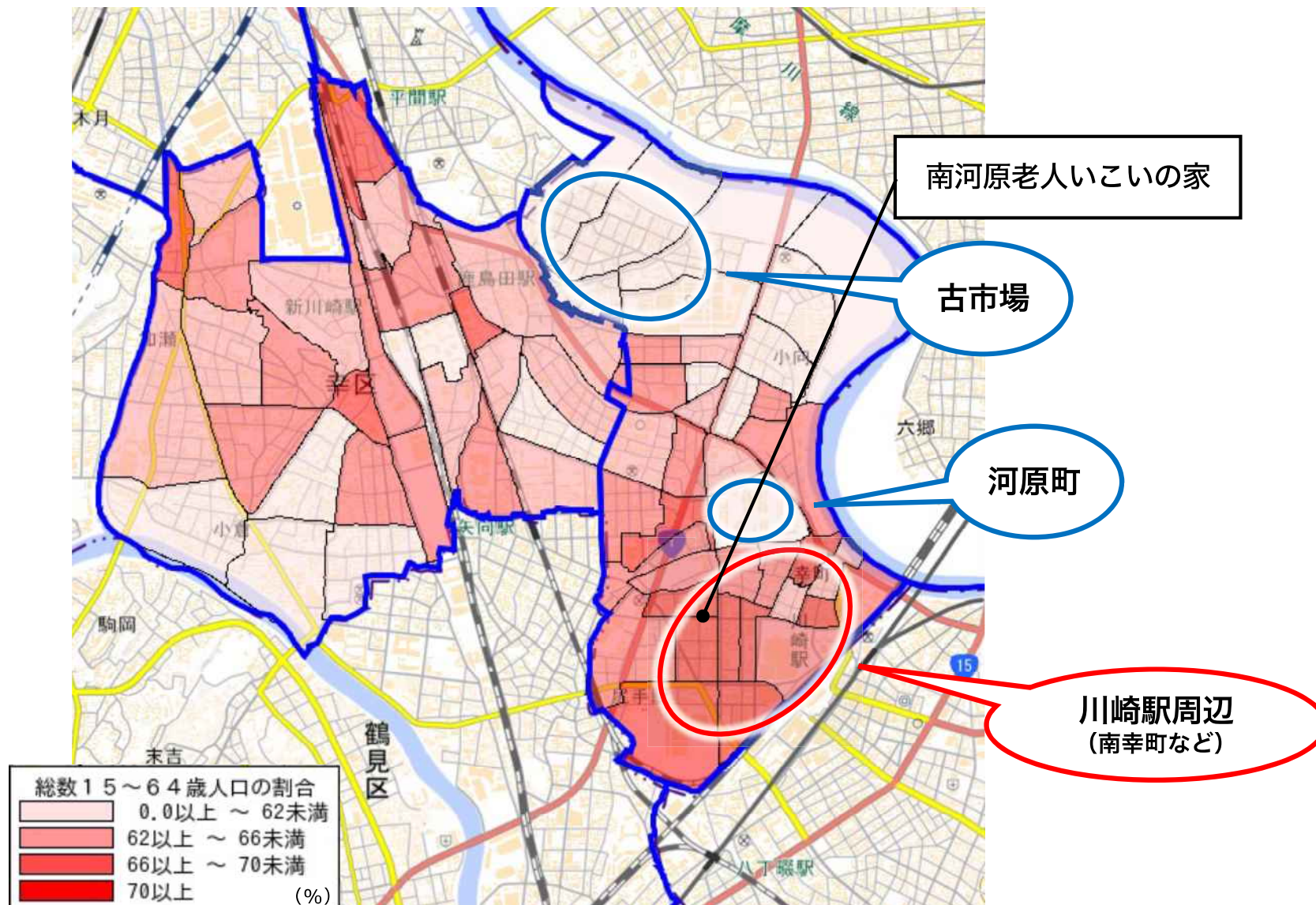


図 幸区の町丁目別15～64歳の人口割合（令和2年国勢調査）【jSTATMAP】

人口動態マップ（65歳以上） ～幸区～

- ・ 町丁目別の65歳以上の人口割合を見ると、**河原町、古市場**周辺で**割合が高**くなっている一方で、**中幸町3丁目**周辺では**低い割合**となっています。

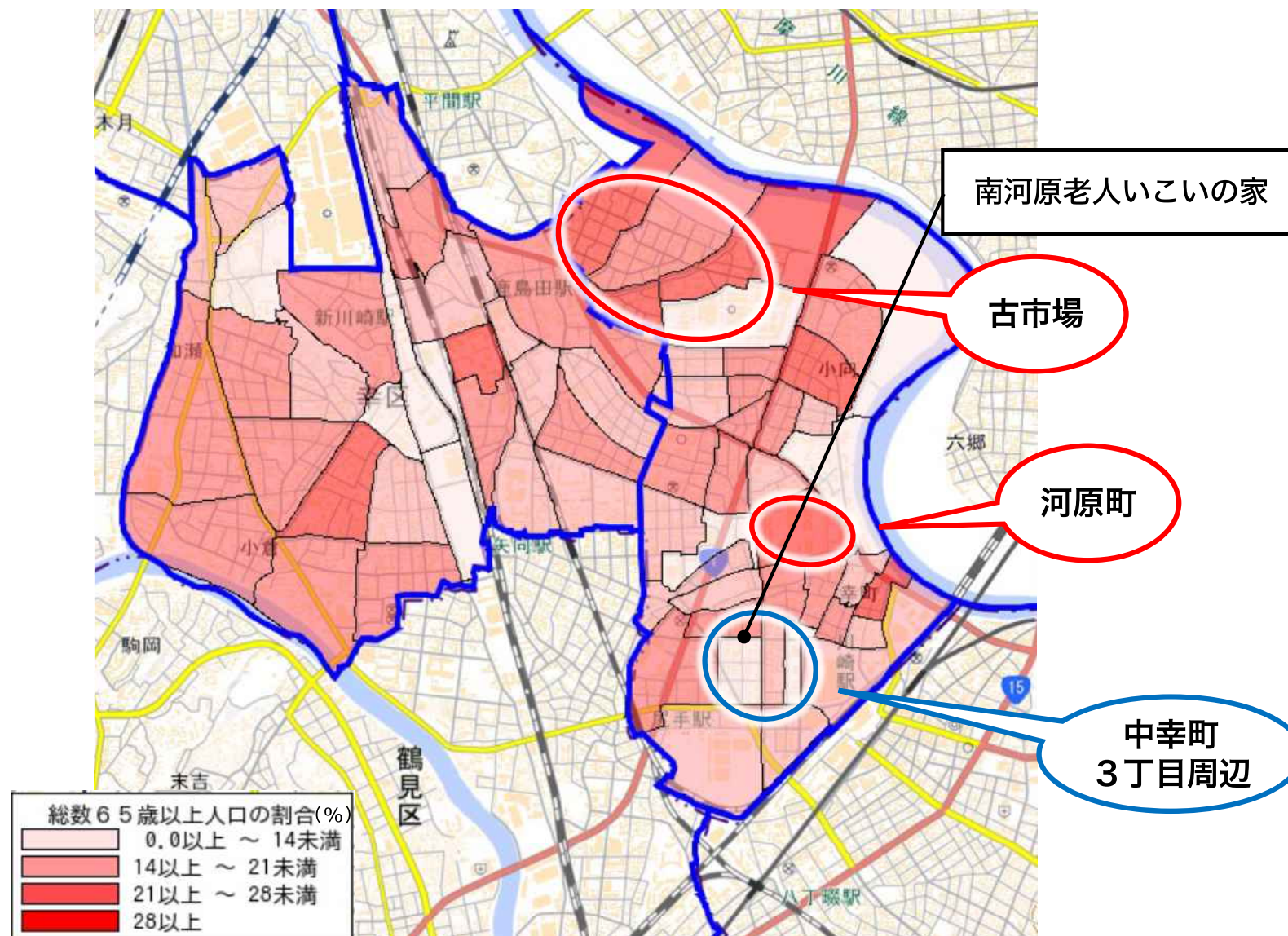


図 幸区の町丁目別 65 歳以上の人口割合（令和 2 年国勢調査）【jSTATMAP】

交通アクセス（バス路線図） ～幸区～

●区役所HP等より

南河原老人いこいの家

【南河原老人いこいの家】
川崎市営バス・臨港バス
「中幸町」徒歩2分



意見交換②

【幸区】第2回ワークショップまとめ

「将来像に向けた公共施設の使い方を整理したアイデア」

J R川崎駅の近くに便利な公共サービス施設を集約する。
(駅近くの可変できる自由な多目的ホール・にぎわいづくりのアクション・改札もセットで回遊性つくる。)

歩いて行ける身近な学校をよりフレキシブル
(時間・空間・目的)に活用する。
(今の資源を最大限に活用し、多様なニーズに対応)

市民が気軽にトレーニングできる場所をもっと増やして、健康寿命を延ばす。

働いている人が帰ってきてから使える場所があると良い。(単身者が多い)
(公共施設⇄民間施設の境をなくした運用をしよう...例: 場所を市が借りて市民へ)

土手が人のいこえる場所に。
(・水辺×ベンチでもよい・デートスポットになる・桜がある・馬に乗れたら良い)

施設数は増やさなくてよいので利用時間を長くしたり様々な人が使えるようにしていくことが大切(子どもだけでも集会所が利用できる等)

市内・区内の様々な民間企業と協働した新たな働き方(・大学との連携・子どもの体験・コワーキングスペース・国際交流できる働き方)

河原町団地の建替タイミングで暮らす人も周辺の人も集える場に。

図書館をオシャレなコミュニティカフェに
(多世代が集まる場・見守りながら集える場)

多摩川沿いはおしゃれでゆったり過ごせる場所に
(水辺と親和性のあるスポーツ・散歩などのゆっくりした過ごし方→多様な選択肢から選べる。)

既存施設を活用するための
・PRをもっとする
・企業と連携
・多目的化をしている

企業と連携して教室が開かれる
(多世代が集まれる場、企業と地域を結ぶ場が必要。見守りロボット教室)

マッチングできる仕組みがあるまち
(困っている人も助けたい人もすぐにつながれるために...)

老人いこいの家の利用時間をもっと遅くまでにして若い人も使えるようにする。
ネーミングも検討が必要

外から人を呼び込む仕組みとして...
多摩川エリアを集いの場に
(エリアとしてブランディングする)

多様なサービスが集約されたエリアづくり
(高齢になっても安心して自分らしく生きられるために...)

学校開放や老人いこいの家の申込方法など公共施設を借りる場合の方法を明確にして周知する。

入口に何をやっているか一目で分かるシンボル掲示板がある
(気軽に出入りできる場か分からない...)

南河原エリアの公共施設一覧 ～幸区～

南河原エリアの公共施設一覧 川崎市公共施設白書【令和4（2022）年度版】R5.3.31時点 ※築年数はR6.3.31時点

施設 No.	大分類	施設名	所在地	概要	基礎データ（公共施設白書より）		
					延床面積 （㎡）	建築年月日 （築年数※）	年間利用者数 （人）
4	庁舎施設	川崎駅中央通路下管理員詰所 	幸区堀川町	・川崎駅中央通路等警備員の詰所。	41.3	1991/8/26 （築32年）	—
7	消防施設	幸消防署南河原出張所 	幸区南幸町2-38-2	・消防力の基盤となる防災拠点であり、消防法に基づく業務を実施している。	441.13	1987/1/27 （築37年）	—
8	消防施設	幸消防団第1分団器具置場 	幸区南幸町3-149-1	・地域に密着した防災活動機関として、各消防署の管轄区域単位に設置されている消防団の活動拠点。消防団員の詰所、活動資器材置場、車庫等の役割。	69.36	2000/12/25 （築23年）	—
15	学校施設	南河原小学校 	幸区都町18	・創立：昭和13年2月19日 ・学級数21、児童数452人（令和5年5月1日時点）	6008.38	1978/3/31 （築46年）	—
17	学校施設	南河原中学校 	幸区中幸町4-31	・創立：昭和31年10月17日 ・学級数13、生徒数342人（令和5年5月1日時点）	7726.41	1987/11/27 （築36年）	—
20	学校施設	南部学校給食センター 	幸区南幸町3-149-2	・川崎区、幸区、高津区及び宮前区に立地する市立中学校のうち22校への学校給食の調理・配送を行う施設。	7230.39	2017/5/31 （築6年）	—

南河原エリアの公共施設一覧 ～幸区～

南河原エリアの公共施設一覧 川崎市公共施設白書【令和4（2022）年度版】R5.3.31時点 ※築年数はR6.3.31時点

施設 No.	大分類	施設名	所在地	概要	基礎データ（公共施設白書より）		
					延床面積 (㎡)	建築年月日 (築年数※)	年間利用者数 (人)
27	市民活動・社会教育施設	ミューザ川崎シンフォニーホール 	幸区大宮町1310	・条例に基づく公共ホール。音楽の鑑賞の機会の提供、音楽活動の振興等を図り、もって市民文化の発展に寄与するため、次の事業を実施。音楽の鑑賞会を開催すること、音楽の鑑賞、音楽活動等のための施設及び設備を利用に供すること、音楽活動の支援を行うこと、その他設置目的を達成するために必要な事業に関すること。	16115.2	2003/12/13 (築20年)	338,473
28	市民活動・社会教育施設	ラゾーナ川崎プラザソル 	幸区堀川町72-1	・大型商業施設ラゾーナ川崎プラザの5階に位置する多目的ホールとして、演劇公演や音楽コンサート、伝統芸能などの様々な文化芸術活動の発表・発信の場。	594.33	—	31,308
35	福祉施設	南河原小学校わくわくプラザ 	幸区都町18	・放課後や土曜日・長期休業期間などに、小学校施設を活用して、児童の安全な居場所及び遊びや生活の場を確保し、様々な文化・スポーツ活動などを通して、異なった年齢層の交流と仲間づくりを支援している。	88.2	1978/3/31 (築46年)	12,832
37	福祉施設	南河原こども文化センター 	幸区都町74-2	・こどもの健全育成のため、利用者に対して遊びの指導や健全育成に資するサービスを提供している。児童福祉法上の児童館の位置付けであり、集会室、遊戯室、図書室等や事務執行に必要な設備を備えた施設。	380.6	1976/12/22 (築47年)	31,472
40	福祉施設	ゲートタワーローズ保育園貸付施設 	幸区大宮町31-1	・川崎ゲートタワー 1階 ・開設年月日：平成24年8月1日 ・受入年齢：1歳児～5歳児 ・定員：30人（1歳：6人、2歳：6人、3歳：6人、4歳～5歳：12人）	149.36	2012/4/25 (築11年)	—
44	福祉施設	南河原老人いこいの家 	幸区南幸町1-11	・高齢者の教養の向上及びレクリエーション活動に関する事業の実施、利用者の自主活動に対する活動の場を提供している。各施設には、大広間、日常訓練動作室、クラブ室、談話室、浴室、静養室、事務室などを設置。	331.24	1979/10/31 (築44年)	7,309

南河原エリアの公共施設一覧 ～幸区～

南河原エリアの公共施設一覧 川崎市公共施設白書【令和4（2022）年度版】R5.3.31時点 ※築年数はR6.3.31時点

施設 No.	大分類	施設名	所在地	概要	基礎データ（公共施設白書より）		
					延床面積 （㎡）	建築年月日 （築年数※）	年間利用者数 （人）
48	環境衛生 施設	川崎駅西口公衆トイレ 	幸区堀川町72	・駅前等整備事業の一環で建設、24時間、誰でも利用できる公衆トイレ	31.5	1988/9/30 （築35年）	—
50	市営住宅 施設	大宮町市営住宅 	幸区大宮町28-8	・川崎駅徒歩13分 ・管理戸数：54戸	4817.7	1997/6/30 （築26年）	—
54	商業・産 業施設	地方卸売市場南部市場 	幸区南幸町3-126-1	・卸売事業者、仲卸事業者、関連事業者、買出人等に対し、生鮮食料品の安定供給に向けた卸売市場業務を行う施設。	27118.3	1975/4/15 （築48年）	—
56	防災施設	大宮町ポンプ場 	幸区大宮町31	・ポンプ施設は、路面が地表より低く、雨水が流入しやすい構造となっているアンダーパス等に設置されており、降雨時に集まった雨水を水中ポンプで外部に排出するために設置された施設。	257.39	2003/4/30 （築20年）	—

起点施設の紹介 ～幸区～

南河原老人いこいの家

外観



施設概要：地域の健康な高齢者のふれあいや生きがいの場としての機能に加え、虚弱な高齢者を地域で支え合い、助け合っていくための福祉活動の拠点機能を併せもつ施設です。

利用時間：月～土 9:00～16:00

対 象 者：川崎市内在住の満60歳以上の方

築 年 数：44年（R6.3.31時点）

年間利用者数：7,309人（川崎市公共施設白書【令和4（2022）年度版】）

